

超音波診断装置および
トランスジューサー用消毒剤
およびクリーニング溶液

PHILIPS

目次

1	はじめに	5
	お客様窓口.....	8
	カスタマーサービス.....	8
	ユーザー情報のルール.....	8
2	安全性	11
	警告および注意.....	11
	グルタルアルデヒド被曝.....	15
3	消毒剤とクリーニング溶液	17
	装置表面用の消毒剤とクリーニング溶液.....	17
	AR (自動処理装置) のガイドライン.....	20
	自動 TEE トランスジューサ消毒装置と洗浄消毒装置のガイドライン.....	23
	トランスジューサ用消毒剤およびクリーニング溶液.....	24
	トランスジューサ名に基づく消毒剤の適合性.....	24
	消毒剤の適合性に基づいて一覧表示されたトランスジューサ.....	30
	適合性のある消毒剤とクリーニング溶液.....	35

1 はじめに

当社製品のユーザー情報では、製品のすべての設定と、すべてのオプションおよびアクセサリーについて説明しています。お使いの製品の設定では、一部の機能が使用できない可能性があります。

トランスジューサは、認可されている国または地域でのみ使用できます。詳細については、最寄の当社お客様窓口までお問い合わせください。本書には、法令に基づく承認や許可の関係上、日本では現時点で装置に搭載されていない機能および販売されていない製品についての情報が含まれている可能性があります。詳細については、担当営業もしくはお客様窓口にお問い合わせください。

本書には、ご使用の Philips 超音波診断装置およびトランスジューサに適合する消毒剤とクリーニング溶液の一覧が記載されています。

本書に記載されている情報は、次の超音波診断装置に適用されます。

- Compact 5000 シリーズ
- Affiniti シリーズ
- ClearVue シリーズ
- CX30
- CX50
- EPIQ シリーズ
- HD5
- HD6
- HD7
- HD11 シリーズ
- HD15
- iE33
- iU22
- Lumify
- Sparq

- Xperius (B. Braun により販売)

この文書に記載されていない Philips 超音波診断装置またはトランスジューサの詳細については、ご使用の装置およびトランスジューサ固有の情報が記載されている『ユーザー・マニュアル』を参照してください。

消毒剤やクリーニング溶液を使用する場合は、必ず製造元の手順に従ってください。

使用可能なクリーニングおよび消毒製品の数が膨大であるため、すべてを網羅するリストを作成することは不可能です。特定の製品の適正について不明な場合は、株式会社フィリップス・ジャパンのお客様窓口までお問い合わせください。

超音波診断装置およびトランスジューサのクリーニングおよび消毒方法については、『超音波診断装置およびトランスジューサの手入れおよびクリーニング』（装置の説明書に付属）または以下のリンクから「フィリップス超音波診断装置の手入れおよびクリーニング」の Web サイトを参照してください。

<https://www.philips.co.jp/healthcare/resources/feature-detail/ultrasound-care-and-cleaning>

ご使用の装置でサポートされているトランスジューサの一覧については、ご使用の装置およびトランスジューサに固有の情報が記載されている『ユーザー・マニュアル』と『ユーザー情報の更新』（該当する場合）を参照してください。

詳細については、以下にお問い合わせください。

- お客様窓口（電話番号：0120-556-494（03-3740-3213））。
- 受付時間：9:00～18:00（土・日・祝祭日・年末年始を除く）。
- 以下のリンクから「フィリップス超音波診断装置の手入れおよびクリーニング」の Web サイトをご覧ください。

<https://www.philips.co.jp/healthcare/resources/feature-detail/ultrasound-care-and-cleaning>

本書またはデジタル・メディアおよびその内容には、フィリップスの専有情報と機密情報が含まれています。フィリップスの書面による事前の許可なく、本書の内容の複製、一部または全部のコピー、翻案、変更、他者への開示、流布を行うことは禁止されています。本書またはデジタル・メディアは顧客による使用を目的としたものであり、フィリップス製品の購入に付随して使用が許可されるか、また、米国食品医薬品

局 (FDA) の 21 CFR 1020.30 (およびそれに付随するすべての改正を含む) およびその他の現地規制要件で規定されている規制約定を満たすものです。許可を受けていない人物が本書を使用することは、固く禁止されています。

フィリップスは、本書をいかなる保証もない現状有姿のまま提供しており、商品性、特定目的に対する適合性、その他について、明示であると黙示であるとを問わず、一切保証をいたしません。

フィリップスでは、本書の内容が正確であるように最善を尽くしておりますが、誤りや記載漏れについては一切責任を負いません。またフィリップスは、信頼性、機能、または意匠の改善のために、本書に記載するすべての製品に関して、将来予告なしに変更する権利を有します。フィリップスは、本書に記載する製品またはプログラムについて、随時、改善や変更を行うことがあります。

フィリップスは、ユーザーまたはその他のいかなる当事者に対しても、本書の特定目的に対する適合性または特定の結果を生み出すための適合性を表現または保証するものではありません。フィリップスの過失に起因する損害に対する賠償を請求するユーザーの権利は、本書の提供のためにユーザーがフィリップスに支払った金額に制限されるものとします。フィリップスは、いかなる場合にも、特別な、付随的な、偶発的な、直接的または間接的な、あるいは結果的な損害、損失、費用、料金、苦情、要求、また、利益、データ、料金、またはあらゆる種類の出費の損失に対する損害賠償の義務を負うものではありません。

本書を無断でコピーすると、著作権の侵害になるだけでなく、フィリップスがユーザーに正確な最新情報を提供する妨げとなる可能性があります。

「Affiniti」、「Affiniti CVx」、「EPIQ」、「EPIQ CVx」、「EPIQ CVxi」、「iE33」、「iU22」、「Lumify」、「Sparq」、および「xMATRIX」は、Koninklijke Philips N.V. の商標です。

「Xperius」は Koninklijke Philips N.V. と B. Braun Melsungen AG の共有の商標です。

フィリップス社製以外の製品の名前は、各所有会社の商標です。

お客様窓口

ユーザー情報についてご質問がある場合や、ユーザー情報に誤りを見つけられた場合は、当社お客様窓口までご連絡ください。下記のアドレス宛てに電子メールを送信していただくこともできます。

techcomm.ultrasound@philips.com

カスタマーサービス

世界各地の営業および営業技術担当者が問い合わせに対応し、メンテナンス・サービスを行っています。日本では、株式会社フィリップス・ジャパンのお客様窓口までお問い合わせください。修理受付窓口 (電話番号：0120-381-557 (03-3740-5357)/受付時間：9:00 ~ 18:00 (土・日・祝祭日・年末年始を除く)) 上記以外の時間帯は機器の不具合のみ受付いたします。日本国外の場合は、下記のオフィスにお問い合わせいただくか、この Web サイトをご覧ください。

www.healthcare.philips.com/main/about/officelocator/index.wpd

Philips Ultrasound LLC
22100 Bothell Everett Hwy
Bothell, WA 98021-8431
USA
800-722-9377

フィリップス・カスタマー・サービス・ポータルは、すべてのモダリティにわたってフィリップスの製品とサービスの管理をサポートするオンライン・プラットフォームです。

<https://www.philips.com/customer-services-portal>

ユーザー情報のルール

当社製品では、情報を検索しやすく、理解しやすくするため、情報の表記に次のようなルールを適用しています。

- すべての手順の先頭に番号を付け、補助手順には文字を使用して順番を示します。正常に処理するためには、番号順に各手順を実行する必要があります。
- 黒丸の付いたリストは、特定の機能または手順に関する一般的な情報を示すものであり、連続した手順を意味するものではありません。
- 装置の左側は、操作者が装置に向かって立ったときの左側になります。装置の前面は、装置の使用時、操作者に最も近い位置になります。
- 文脈上区別が重要である場合を除いて、トランスジューサおよびペンシル・プローブは両方ともトランスジューサのことを指します。

製品を安全かつ効果的に使用するうえで不可欠な情報は、ユーザー情報全体を通じて次のように表示されます。

**警告**

警告は、ユーザー、操作者、および患者の安全に不可欠な情報を示します。

**注意**

注意は、製品の不具合の原因となり、保証や修理契約が無効となるような事項や、患者や装置のデータを失うおそれのある事項を示しています。

注

注記は、製品のより効果的な操作に役立つ重要な情報を示します。

2 安全性

本項に記載されている情報をお読みいただき、超音波診断装置の操作および保守点検を行うすべての人と検査を受けるすべての患者の安全を確保し、装置およびアクセサリの品質を確認してください。

警告および注意

クリーニング溶液および消毒剤の使用時の安全性を最大限に高めるために、次の警告および注意に従ってください。



警告

すべての消毒薬が、すべての汚染の種類に効果があるわけではありません。消毒剤の種類が、指定した装置またはトランスジューサに適していること、溶液の濃度および浸漬時間が実行する臨床上的使用目的に適していることを確認してください。



警告

消毒剤は、その生物学的作用のためではなく、製品材料との化学的な適合性から推奨されています。消毒剤の生物学的作用については、消毒剤の製造元、米国食品医薬品局 (FDA)、および米国疾病防疫センターのガイドラインおよび推奨事項を参照してください。



警告

あらかじめ調合された溶液を使用する場合は、溶液の使用期限を確認してください。

**警告**

装置に必要な消毒レベルは、使用時に接触する組織の種類と使用するトランスジューサの種類によって異なります。消毒剤の種類がトランスジューサの種類やトランスジューサのアプリケーションに適していることを確認してください。必要な消毒レベルの詳細については、『超音波診断装置およびトランスジューサの手入れおよびクリーニング』を参照してください。また、消毒剤の添付文書および取扱説明書の指示と、Association for Professionals in Infection Control、FDA (U.S. Food and Drug Administration)、AIUM (American Institute of Ultrasound in Medicine) の公式声明: 「Guidelines for Cleaning and Preparing External- and Internal-Use Ultrasound Transducers and Equipment Between Patients as well as Safe Handling and Use of Ultrasound Coupling Gel」、および米国疾病防疫センターによる推奨事項も参照してください。

**警告**

クリーニング溶液または消毒剤の製造元の推奨事項に従ってください。

**警告**

装置のクリーニングまたは消毒を行う場合は、必ず保護用ゴーグルおよびグローブを使用してください。

**注意**

推奨されていない消毒剤を使用したり、溶液の濃度に誤りがあったり、トランスジューサを推奨よりも深くまたは長時間浸漬したりすると、トランスジューサが損傷を受けたり色が落ちたりすることがあります。この場合、トランスジューサの保証は適用されません。

**注意**

イソプロピル・アルコール (消毒用アルコール)、変性エチル・アルコール、およびアルコール・ベースの製品の使用は、すべてのトランスジューサにおいて制限されています。USB コネクタを持つトランスジューサの場合、アルコールで拭くことのできる部品は、トランスジューサのハウジングとレンズ (音響窓) だけです。TEE 以外のトランスジューサの場合、アルコールで拭くことのできる部品は、コネクタのハウジング、トランスジューサのハウジングおよびレンズだけです。TEE トランスジューサの場合、アルコールで拭くことのできる部品は、コネクタのハウジングとコントロールのハウジングだけです。アルコール溶液には、91% 以下のイソプロピル・アルコールまたは 85% 以下の変性エチル・アルコールのみを使用してください。トランスジューサの他の部品は、損傷することがあるため、アルコールで拭かないでください (ケーブル、USB コネクタ、または屈曲コントロールを含む)。この場合の損傷には保証またはサービス契約の条項が適用されません。

**注意**

クリーニング製品および消毒製品によっては、使用のたびに残留する消毒剤およびゲルを完全に除去しないと、変色の原因となる可能性があります。クリーニング溶液および消毒剤を使用する前には必ず、ゲルを完全に除去してください。必要に応じて、使用が認められている場合は 70% のイソプロピル・アルコールを使用して、装置のコンポーネントに蓄積した残留物を除去することができます。必要に応じて、使用が認められている場合は 91% 以下のイソプロピル・アルコール溶液または 85% 以下の変性エチル・アルコール溶液を使用して、トランスジューサの特定のコンポーネントに蓄積した残留物を除去することができます。

**注意**

トランスジューサのレンズに粘着フィルム (テガダームなど) を貼付しないでください。フィルムを貼るとレンズが損傷するおそれがあります。

**注意**

モニタ画面にはガラス・クリーナー、殺菌スプレー、または漂白剤を含んでいる製品を使用しないでください。そのようなクリーニング溶液や製品を繰り返し使用すると、モニタ画面の表面が損傷する可能性があります。残留物が蓄積しないように、承認された消毒剤やクリーニング溶液をすぐに拭き取ってください。LCD または OLED クリーニング専用のクリーニング溶液を使用してください。

**注意**

タッチ・スクリーンには、殺菌スプレーや、漂白剤またはアルコールを含んでいる製品を使用しないでください。そのようなクリーニング溶液や製品を繰り返し使用すると、タッチ・スクリーンの表面が損傷する可能性があります。残留物が蓄積しないように、承認された消毒剤やクリーニング溶液をすぐに拭き取ってください。

**注意**

TEE トランスジューサについては、すべての除染プロセスでコネクタ・ピンの保護カバーを使用することが必須となっています。トランスジューサをスキャンに使用する際は、コネクタからカバーを外してください。カバーは常に紐でトランスジューサ・ケーブルに付けたままにしておいてください。

**注意**

トランスジューサを液体に浸す際は、トランスジューサに目視できる気泡がないことを必ず確認してください。気泡があると、溶液とトランスジューサが密着せず、クリーニング、消毒、滅菌の各プロセスの妨げになる可能性があります。

グルタルアルデヒド被曝

米国職業安全衛生管理局 (OSHA) は、作業環境において許容可能なグルタルアルデヒド被曝のレベルに関する規定を発表しました。当社では、製品に使用するグルタルアルデヒドをベースにした消毒剤は販売していません。

空気中のグルタルアルデヒドの成分を減らすには、カバー付き、または換気を考慮した洗浄容器を使用するようにしてください。こうした装置は市販されています。消毒剤および当社のトランスジューサの最新情報については、以下のリンクから「フィリップス超音波診断装置の手入れおよびクリーニング」の Web サイトを参照してください。

<https://www.philips.co.jp/healthcare/resources/feature-detail/ultrasound-care-and-cleaning>

3 消毒剤とクリーニング溶液

次のトピックでは、ご使用の Philips 超音波診断装置およびトランスジューサに適合する消毒剤とクリーニング溶液の一覧が記載されています。

装置表面用の消毒剤とクリーニング溶液

Lumify 装置

機器のクリーニングおよび消毒は、購入者の責任において、機器の製造元の指示および医療機器のクリーニングおよび消毒に関する施設のポリシーに従って適切に行ってください。

Philips Lumify コンポーネントのクリーニング方法の詳細については、Lumify の『ユーザー・マニュアル』を参照してください。



警告

Lumify と互換性のあるモバイル・デバイスの内部が病原体を含む体液で汚染された場合は、当社の修理受付窓口にご連絡ください。デバイスの内部部品は消毒できません。そのような場合は、地域または国の法律に従って、デバイスを生物学的危険物質として廃棄する必要があります。

Lumify を除くすべての装置

消毒剤およびクリーニング溶液の適合性は、何に使用するかによって異なります。次の表に掲載されている製品は、これらの装置表面での使用に適合しています。

- ECG のトランク・ケーブル、リード、および電極
- 装置とカート的外部プラスチック表面および塗面
- 装置のコントロール・パネル
- モニター画面とタッチ・スクリーン

・ イージークリップ・トランスジューサ・ケーブル・マネージャ

全表面用のクリーニング溶液	モニター画面とタッチ・スクリーン用のクリーニング溶液	装置表面とタッチ・スクリーン用の消毒剤
<p>低刺激性の石鹼水¹</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 低刺激性の石鹼水¹ • LCD または OLED 用のクリーニング溶液 • 精製水 	<ul style="list-style-type: none"> • 70% イソプロピル・アルコール (IPA) (タッチ・スクリーンには使用できません) • Opti-Cide3 (第 4 アンモニウム/IPA ベース) • Oxivir Tb (加速化過酸化水素ベース) • Protex スプレーまたはワイプ (以下の装置にのみ適合) <ul style="list-style-type: none"> - Compact 5000 シリーズの装置 - Affiniti シリーズの装置 - EPIQ シリーズの装置 - Xperius 装置 • Sani-Cloth HB (QUAT ベース) • Sani-Cloth Plus (QUAT/IPA ベース) • PI-Spray II (QUAT ベース)

1. 低刺激性の石鹼水とは、刺激の強い成分を含まず、皮膚に刺激を与えない石鹼水のことです。香料、油分、アルコールを含むものは使用できません。手指用の除菌剤の使用は認可されていません。



注意

装置、周辺機器、またはトランスジューサには、クレンザー、アセトン、MEK (メチルエチルケトン)、シンナー、その他の強い溶剤を使用しないでください。

**注意**

Sani-Cloth AF3 または Super Sani-Cloth を使用して装置を消毒しないでください。

**注意**

装置の継ぎ目、ポート、またはトランスジューサのコネクタに液体をこぼしたり、吹き付けたりしないように注意してください。

**注意**

モニタ画面とタッチ・スクリーンには、マイクロファイバーの布を使用してください。ペーパー・タオルは使用しないでください。

**注意**

モニタ画面にはガラス・クリーナー、殺菌スプレー、または漂白剤を含んでいる製品を使用しないでください。そのようなクリーニング溶液や製品を繰り返し使用すると、モニタ画面の表面が損傷する可能性があります。残留物が蓄積しないように、承認された消毒剤やクリーニング溶液をすぐに拭き取ってください。LCD または OLED クリーニング専用のクリーニング溶液を使用してください。

**注意**

タッチ・スクリーンには、殺菌スプレーや、漂白剤またはアルコールを含んでいる製品を使用しないでください。そのようなクリーニング溶液や製品を繰り返し使用すると、タッチ・スクリーンの表面が損傷する可能性があります。残留物が蓄積しないように、承認された消毒剤やクリーニング溶液をすぐに拭き取ってください。



注意

装置表面およびトランスジューサは、超音波伝達ゲル、アルコール、および消毒剤に対して耐性がありますが、それらの物質を使用した場合は、永続的な損傷を与えないように拭き取りを行う必要があります。

超音波診断装置およびトランスジューサのクリーニングおよび消毒方法については、『超音波診断装置およびトランスジューサの手入れおよびクリーニング』または以下のリンクから「フィリップス超音波診断装置の手入れおよびクリーニング」の Web サイトを参照してください。

<https://www.philips.co.jp/healthcare/resources/feature-detail/ultrasound-care-and-cleaning>

AR (自動処理装置) のガイドライン

一部のトランスジューサのみが自動処理装置 (Automated Reprocessor : AR) に適合しており、AR に使用できる溶液または処理条件も限られています。

次の条件を満たす場合に限り、Philips トランスジューサを AR で洗浄消毒処理できません。

- 使用するすべての化学薬品と処理条件が洗浄消毒処理を行う特定の Philips トランスジューサ・モデルに適合していること。また、AR の製造元が推奨する条件下でそれらの化学薬品を使用すること。
- 洗浄消毒処理中に使用する温度が、56 °C (133 °F) を超えないこと。
- 洗浄消毒処理の間、トランスジューサのコネクタがクリーニング溶液または消毒液に触れないようにすること (STERRAD 100S 装置を使用する場合を除く)。これにより、ハンドルまたはコネクタに液体が飛び散るリスクを制限できます。

特定の TEE 非対応 Philips トランスジューサの処理要件を満たしている AR を次示します。これらの AR は、特定のトランスジューサの洗浄消毒処理を行うように特別に設計されているか、特定のトランスジューサの洗浄消毒処理をサポートする付属品を提供しています。

注

次の表にリストした AR に加え、前述の基準を満たしている AR については、その使用が承認されています。

例: Philips TEE 以外のトランスジューサに対応する AR

製造元	原産国	モデル	トランスジューサの種類	適合する消毒剤または方法	処理条件
Advanced Sterilization Products	US	STERRAD 100S	L10-4lap	過酸化水素	50° C (122° F)
CIVCO Medical Solutions	US	Astra VR	体腔内 ¹	Cidex OPA、Revital-Ox	20° C ~ 25° C (68° F ~ 77° F)
		Astra VR Ultra	体腔内 ¹	OPA Plus、UltrOx	20° C ~ 25° C (68° F ~ 77° F)
CS Medical	US	Ethos Reprocessor	複数 ²	Aquacide	47° C (116.6° F)
Germitec	FR	Antigermix S1	複数 ³	UV-C	周囲の温度
		Hypernova Chronos	複数 ³	UV-C	周囲の温度
Lumicare ONE	AU	Lumicare ONE	複数 ⁴	UV-C	周囲の温度

製造元	原産国	モデル	トランスジューサの種類	適合する消毒剤または方法	処理条件
Medivators	US	ADVANTAGE PLUS (オプションの超音波フローブ・フックアップ・キットの使用が必要)	複数 ⁵	RAPICIDE PA Single Shot	30° C (86° F)
Nanosonics	AU	Trophon EPR trophon2	複数 ⁶	過酸化水素	56° C (133° F)

1. 対応する経膈および経直腸トランスジューサについては、「[適合性のある消毒剤とクリーニング溶液](#)」(35ページ)の Astra VR または Astra VR Ultra についての説明を参照し、適合性カラム番号を使用して「[消毒剤の適合性に基づいて一覧表示されたトランスジューサ](#)」(30ページ)の該当するリストを確認してください。
2. 対応するトランスジューサについては、「[適合性のある消毒剤とクリーニング溶液](#)」(35ページ)の Ethos Reprocessor での Aquacide の使用についての説明を参照し、適合性カラム番号を使用して「[消毒剤の適合性に基づいて一覧表示されたトランスジューサ](#)」(30ページ)の該当するリストを確認してください。
3. 対応するトランスジューサについては、「[適合性のある消毒剤とクリーニング溶液](#)」(35ページ)の Antigermix S1 または Hypernova Chronos についての説明を参照し、適合性カラム番号を使用して「[消毒剤の適合性に基づいて一覧表示されたトランスジューサ](#)」(30ページ)の該当するリストを確認してください。
4. 対応するトランスジューサについては、「[適合性のある消毒剤とクリーニング溶液](#)」(35ページ)の Lumicare ONE についての説明を参照し、適合性カラム番号を使用して「[消毒剤の適合性に基づいて一覧表示されたトランスジューサ](#)」(30ページ)の該当するリストを確認してください。

5. 対応するトランスジューサについては、「[適合性のある消毒剤とクリーニング溶液](#)」(35ページ)の Advantage Plus (オプションの超音波プローブ・フックアップ・キットの使用が必要) についての説明を参照し、適合性カラム番号を使用して「[消毒剤の適合性に基づいて一覧表示されたトランスジューサ](#)」(30ページ)の該当するリストを確認してください。
6. 対応するトランスジューサについては、「[適合性のある消毒剤とクリーニング溶液](#)」(35ページ)の trophon EPR および trophon2 についての説明を参照し、適合性カラム番号を使用して「[消毒剤の適合性に基づいて一覧表示されたトランスジューサ](#)」(30ページ)の該当するリストを確認してください。

自動 TEE トランスジューサ消毒装置と洗浄消毒装置のガイドライン

一部のトランスジューサだけが自動 TEE トランスジューサ消毒装置または自動 TEE トランスジューサ洗浄消毒装置に適合しており、自動装置に使用できるのは特定の溶液のみです。

次の基準を満たしている場合は、Philips TEE トランスジューサを自動 TEE トランスジューサ消毒装置または自動 TEE トランスジューサ洗浄消毒装置で洗浄消毒処理できます。

- 使用するすべての化学薬品と処理条件が洗浄消毒処理を行う特定の Philips TEE トランスジューサ・モデルに適合していること。また、それらの化学薬品を処理装置の製造元が推奨する条件下で使用すること。
- 洗浄消毒処理中に使用する温度が、45° C (113° F) を超えないこと。
- 洗浄消毒処理の間、TEE トランスジューサのハンドルおよびコネクタ (ハンドルのサポート・スタンドおよび密閉機構を含む) がクリーニング溶液または消毒液に触れないようにすること。これにより、ハンドルまたはコネクタに液体が飛び散るリスクを制限できます。
- 処理装置の使用中に、トランスジューサ全体を消毒液に完全に浸漬させることを目的として、ハンドルおよびコネクタに保護カバーや保護機器を装着することは禁止されています。

- 乾熱法を使用しないこと。

詳細については、当社お客様窓口までお問い合わせください。

自動 TEE トランスジューサ消毒装置または自動 TEE トランスジューサ洗浄消毒装置による TEE トランスジューサのクリーニングおよび消毒方法については、「超音波診断装置およびトランスジューサの手入れおよびクリーニング」を参照してください。

トランスジューサ用消毒剤およびクリーニング溶液

本項の 3 つの表には、ご使用のトランスジューサに使用できる消毒剤とクリーニング溶液が記載されています。

- 「トランスジューサ名に基づく消毒剤の適合性」(24ページ) : トランスジューサが消毒剤とクリーニング溶液の適合性と共にアルファベット順に表示されています。「トランスジューサ名」列でご使用のトランスジューサを探し、「適合性カラム」リファレンスで、「適合性のある消毒剤とクリーニング溶液」(35ページ)の該当する「適合性カラム」を参照します。
- 「消毒剤の適合性に基づいて一覧表示されたトランスジューサ」(30ページ) : トランスジューサが「適合性のある消毒剤とクリーニング溶液」(35ページ)の対応する「適合性カラム」に従って表示されています。この表を使用すれば、どのトランスジューサがどの番号の適合性カラムに対応するかを即座に判断できます。
- 「適合性のある消毒剤とクリーニング溶液」(35ページ) : 当社のトランスジューサに適合する消毒剤とクリーニング溶液の一覧が表示されています。適合性カラムの番号は、トランスジューサと、それに適合する消毒剤およびクリーニング溶液を示しています。2 つのトランスジューサ表のいずれかを使用して、どの適合性カラムがご使用のトランスジューサに当てはまるかを判断します。

トランスジューサ名に基づく消毒剤の適合性

この表には、トランスジューサが消毒剤とクリーニング溶液の適合性と共にアルファベット順に表示されています。「トランスジューサ名」列でご使用のトランスジューサ(指定されている場合は対象装置)を探し、「適合性カラム」で「適合性のある消毒

「[剤とクリーニング溶液](#)」(35ページ)の該当する適合性カラムを特定します。装置が指定されていない場合は、トランスジューサの全バージョンで同じ適合性カラムを使用します。

装置でサポートされているトランスジューサの一覧については、必要に応じて装置の『ユーザー・マニュアル』および『ユーザー情報の更新』を参照してください。

トランスジューサ名に基づく適合性リファレンス

トランスジューサ名 (装置名)	適合性カラム
1.9MHz CW Pencil	3
1.9MHz TCD	3
3D6-2	1
3D8-4	1
3D9-3v (HD11、HD15、iU22)	1
3D9-3v (Compact 5000、Affiniti、ClearVue、EPIQ)	2
5.0MHz CW Pencil	3
7.5MHz Endo	1
BP10-5ec	2
C5-1 (CX50、HD15、iE33、iU22)	1
C5-1 (Compact 5000、Affiniti、EPIQ、Sparq)	2
C5-2 (HD5、HD6、HD7、HD11、HD15、iE33、iU22)	1
C5-2 (ClearVue)	2
C5-2 (Lumify、Xperius)	8
C6-2 Compact (CX30、Sparq)	1
C6-2 Compact (Compact 5000、Affiniti)	2
C6-3	1

トランスジューサ名 (装置名)	適合性カラム
C8-4v	1 または 2 [†]
C8-5	1
C8-5 Compact (CX30、CX50)	1
C8-5 Compact (Compact 5000、Affiniti、EPIQ)	2
C9-2	2
C9-3io	7
C9-3v	2
C9-4	1
C9-4ec	1
C9-4v	2
C9-4v Compact	2
C9-5ec	1
C10-3v	2
C10-4ec	2
D2cwc	3
D2tcd	3
D5cwc	3
eL18-4	2
eL18-4 EMT	2
L8-4	1
L9-3	1
L10-4lap	6

トランスジューサ名 (装置名)	適合性カラム
L11-3	1
L12-3 (HD5、HD6、HD7、HD11、HD15)	1
L12-3 (Compact 5000、Affiniti、CX50、EPIQ)	2
L12-3ERGO	2
L12-4 (ClearVue)	2
L12-4 (Lumify、Xperius)	8
L12-4 Compact (CX30、Sparq)	1
L12-4 Compact (Compact 5000、Affiniti)	2
L12-5 38 mm	1
L12-5 50 mm Compact (CX50、Sparq)	1
L12-5 50 mm Compact (Compact 5000、Affiniti、EPIQ)	2
L12-5 50 mm	1
L15-7io (HD11、HD15、iE33、iU22)	1 または 2 ⁺
L15-7io (Compact 5000、Affiniti、CX30、CX50、EPIQ、Sparq)	2
L17-5	1
L18-5	2
mC7-2	2
mC12-3	2
mL26-8	2
OMNI III TEE	5
S3-1	1
S4-1 (iU22)	1

トランスジューサ名 (装置名)	適合性カラム
S4-1 (ClearVue)	2
S4-1 (Lumify)	8
S4-2	1
S4-2 Compact (CX30、CX50、Sparq)	1
S4-2 Compact (Compact 5000、Affiniti)	2
S5-1 (CX50、iE33、iU22、Sparq)	1
S5-1 (Compact 5000、Affiniti、EPIQ)	2
S5-2	1
S6-2mpt	5
S7-2t	5
S7-3t	4
S8	1
S8-3	1
S8-3 Compact (CX30、CX50、HD5)	1
S8-3 Compact (Compact 5000、Affiniti、EPIQ)	2
S8-3t	4
S9-2	2
S12	1
S12-4	1
S12-4 Compact (CX50)	1
S12-4 Compact (Affiniti、EPIQ)	2
TCD	3

トランスジューサ名 (装置名)	適合性カラム
V6-2 (HD11 XE, HD15, iU22)	1
V6-2 (Compact 5000, Affiniti, ClearVue, EPIQ, HD5)	2
V9-2	2
V8-4	1
VL13-5	1
VL13-5 Compact	2
X3-1	1
X5-1 (iE33)	1
X5-1 (Affiniti, EPIQ)	2
X5-1c	2
X6-1	2
X7-2 (iE33, iU22)	1
X7-2 (EPIQ)	2
X7-2t	5
X8-2t	5
XL14-3	2
XL14-3	2

脚注

†	<p>以下の部品番号を含む C8-4v モデルについては、適合性カラム 2 を使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 部品番号 45356117292x (x は 3 以上) • 部品番号 45356128750x (x は 2 以上) • 部品番号 45356131895x (x は 1 以上) • 部品番号 45356149748x (x は 1 以上) • 部品番号 45356149749x (x は 1 以上) • 部品番号 45356168452x (x は 1 以上) <p>他の部品番号を含む C8-4v モデルについては、適合性カラム 1 を使用してください。</p> <p>部品番号は、コネクタのハウジングの内側にあります。</p>
‡	<p>以下の部品番号を含む L15-7io モデルについては、適合性カラム 2 を使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 部品番号 45356140781x (x は 1 以上) • 部品番号 45356141827x (x は 1 以上) <p>他の部品番号を含む L15-7io モデルについては、適合性カラム 1 を使用してください。</p> <p>部品番号は、コネクタのハウジングの内側にあります。</p>

消毒剤の適合性に基づいて一覧表示されたトランスジューサー

次の表には、「[適合性のある消毒剤とクリーニング溶液](#)」(35ページ)に該当する適合性カラム別にトランスジューサーが一覧表示されています。カラムの見出しの色は、適合性カラムの色に対応しています。装置が指定されていない場合は、トランスジューサーの全バージョンで同じ適合性カラムを使用します。

装置でサポートされているトランスジューサーの一覧については、必要に応じて装置の『ユーザー・マニュアル』および『ユーザー情報の更新』を参照してください。

消毒剤の適合性に基づいて一覧表示されたトランスジューサ

適合性カラム 1 に該当するトランスジューサ (装置名)

3D6-2	L12-5 50 mm
3D8-4	L15-7io (HD11、HD15、iE33、iU22) ²
3D9-3v (HD11、HD15、iU22)	L17-5
7.5MHz Endo	S3-1
C5-1 (CX50、HD15、iE33、iU22)	S4-1 (iU22)
C5-2 (HD5、HD6、HD7、HD11、HD15、iE33、iU22)	S4-2
C6-2 Compact (CX30、Sparq)	S4-2 Compact (CX30、CX50、Sparq)
C6-3	S5-1 (CX50、iE33、iU22、Sparq)
C8-4v ¹	S5-2
C8-5	S8
C8-5 Compact (CX30、CX50)	S8-3
C9-4	S8-3 Compact (CX30、CX50、HD5)
C9-4ec	S12
C9-5ec	S12-4
L8-4	S12-4 Compact (CX50)
L9-3	V6-2 (HD11 XE、HD15、iU22)
L11-3	V8-4
L12-3 (HD5、HD6、HD7、HD11、HD15)	VL13-5
L12-4 Compact (CX30、Sparq)	X3-1
L12-5 38 mm	X5-1 (iE33)

L12-5 50 mm Compact (CX50、Sparq)	X7-2 (iE33、iU22)
適合性カラム 2 に該当するトランスジューサ (装置名)	
3D9-3v (Compact 5000、Affiniti、ClearVue、EPIQ)	L15-7io (Compact 5000、Affiniti、CX30、CX50、EPIQ、Sparq)
BP10-5ec	L15-7io (HD11、HD15、iE33、iU22) ²
C5-1 (Compact 5000、Affiniti、EPIQ、Sparq)	L18-5
C5-2 (ClearVue)	mC7-2
C6-2 Compact (Compact 5000、Affiniti)	mC12-3
C8-4v ¹	mL26-8
C8-5 Compact (Compact 5000、Affiniti、EPIQ)	S4-2 Compact (Compact 5000、Affiniti)
C9-2	S5-1 (Compact 5000、Affiniti、EPIQ)
C9-3v	S8-3 Compact (Compact 5000、Affiniti、EPIQ)
C9-4v	S9-2
C9-4v Compact	S12-4 Compact (Affiniti、EPIQ)
C10-3v	V6-2 (Compact 5000、Affiniti、ClearVue、EPIQ、HD5)
C10-4ec	V9-2
eL18-4	VL13-5 Compact
eL18-4 EMT	X5-1 (Affiniti、EPIQ)
L12-3 (Compact 5000、Affiniti、CX50、EPIQ)	X5-1c
L12-3ERGO	X6-1

L12-4 (ClearVue)

X7-2 (EPIQ)

L12-4 Compact (Compact 5000、Affiniti)

XL14-3

L12-5 50 mm Compact (Compact 5000、
Affiniti、EPIQ)

適合性カラム 3 に該当するトランスジューサ

1.9MHz CW Pencil

1.9MHz TCD

5.0MHz CW Pencil

D2cwc

D2tcd

D5cwc

TCD

適合性カラム 4 に該当するトランスジューサ

S7-3t

S8-3t

適合性カラム 5 に該当するトランスジューサ

OMNI III TEE

S6-2mpt

S7-2t

X7-2t

X8-2t

適合性カラム 6 に該当するトランスジューサ

L10-4lap

適合性カラム 7 に該当するトランスジューサ

C9-3io

適合性カラム 8 に該当するトランスジューサ

C5-2 (Lumify、Xperius)

L12-4 (Lumify、Xperius)

S4-1 (Lumify)

脚注

1 以下の部品番号を含む C8-4v モデルについては、適合性カラム 2 を使用してください。

- 部品番号 45356117292x (x は 3 以上)
- 部品番号 45356128750x (x は 2 以上)
- 部品番号 45356131895x (x は 1 以上)
- 部品番号 45356149748x (x は 1 以上)
- 部品番号 45356149749x (x は 1 以上)
- 部品番号 45356168452x (x は 1 以上)

他の部品番号を含む C8-4v モデルについては、適合性カラム 1 を使用してください。

部品番号は、コネクタのハウジングの内側にあります。

2 以下の部品番号を含む L15-7io モデルについては、適合性カラム 2 を使用してください。

- 部品番号 45356140781x (x は 1 以上)
- 部品番号 45356141827x (x は 1 以上)

他の部品番号を含む L15-7io モデルについては、適合性カラム 1 を使用してください。

部品番号は、コネクタのハウジングの内側にあります。

適合性のある消毒剤とクリーニング溶液

次の表には、ご使用の Philips 超音波診断装置に使用できるトランスジューサに適合する消毒剤とクリーニング溶液の一覧が記載されています。[「消毒剤の適合性に基づいて一覧表示されたトランスジューサ」](#) (30ページ) または [「トランスジューサ名に基づく消毒剤の適合性」](#) (24ページ) の表を使用して、トランスジューサおよび対応する適合性カラムを見つけてください。



注意

イソプロピル・アルコール (消毒用アルコール)、変性エチル・アルコール、およびアルコール・ベースの製品の使用は、すべてのトランスジューサにおいて制限されています。USB コネクタを持つトランスジューサの場合、アルコールで拭くことのできる部品は、トランスジューサのハウジングとレンズ (音響窓) だけです。TEE 以外のトランスジューサの場合、アルコールで拭くことのできる部品は、コネクタのハウジング、トランスジューサのハウジングおよびレンズだけです。TEE トランスジューサの場合、アルコールで拭くことのできる部品は、コネクタのハウジングとコントロールのハウジングだけです。アルコール溶液には、91% 以下のイソプロピル・アルコールまたは 85% 以下の変性エチル・アルコールのみを使用してください。トランスジューサの他の部品は、損傷することがあるため、アルコールで拭かないでください (ケーブル、USB コネクタ、または屈曲コントロールを含む)。この場合の損傷には保証またはサービス契約の条項が適用されません。

材料適合性試験、製品使用プロファイル、および有効成分に基づき、当社では、消毒剤の表の適合性制限に従って、次の種類の低水準および中水準の消毒剤を体表 (皮膚接触) および経膈または経直腸トランスジューサへの散布または清拭として使用することを一般的に承認しています。

**注意**

フィリップスでは、経食道または腹腔鏡トランスジューサーに以下の製品を使用することを一般的に承認していません。

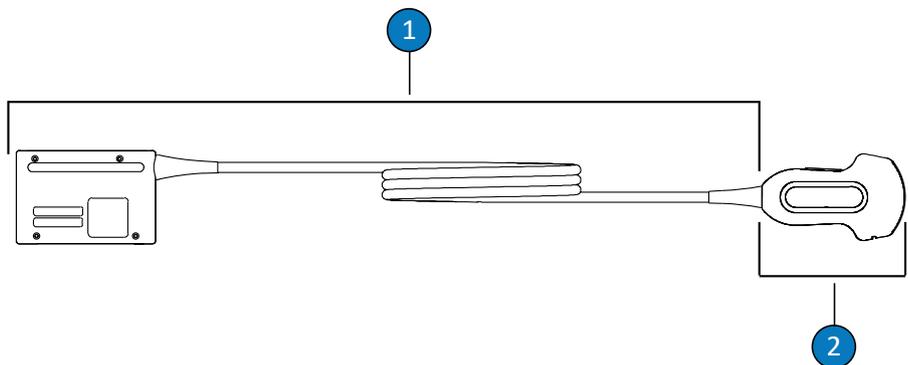
- 次亜塩素酸ナトリウム (有効次亜塩素酸ナトリウムが約 0.6% の 10% の家庭用漂白液など)
- 第 4 アンモニウム (QUAT) ベース (x がエチルやメチルなどの有機官能基となることができる n-アルキル x ベンジル・アンモニウム塩化溶液を含んでいる製品で、使用時の濃度は記載されているすべての QUAT の合計の 0.8% を下回る必要があります)
- 加速化過酸化水素ベース (最大 0.5% の過酸化水素)
- アルコールまたはアルコール・プラス QUAT ベース (製品のアルコール含有量は、イソプロピル・アルコール 91% または変性エチル・アルコール 85% を超えないようにしてください)
- この一覧に示されているように、適合性の表に特に記載されていなくても、類似する有効成分を持ち、医学的用途で市販されている製品

消毒剤やクリーニング溶液を使用する場合は、必ず製造元の手順に従ってください。

使用可能なクリーニングおよび消毒製品の数が増大であるため、すべてを網羅するリストを作成することは不可能です。特定の製品の適正について不明な場合は、株式会社フィリップス・ジャパンのお客様窓口までお問い合わせください。

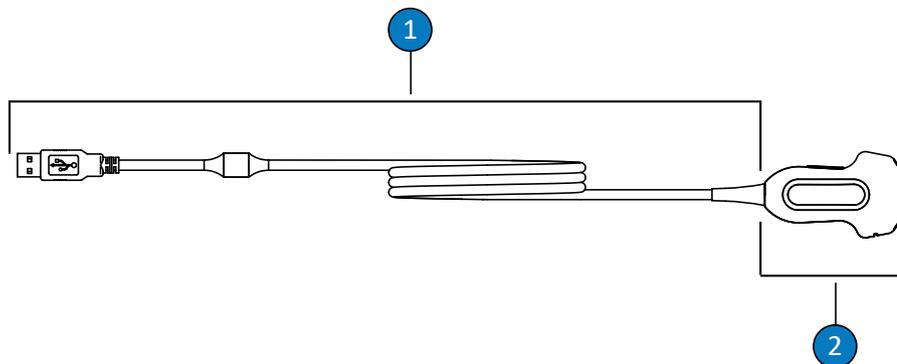
消毒剤とクリーニング溶液の表の凡例

製造国または地域	消毒剤の種類	適合性
AU = オーストラリア	CL = クリーニング溶液	C = ケーブルおよびコネクタでの使用が認可されている (コネクタを絶対に浸漬しないでください)。コネクタでの使用不認可が記載されている場所を除く H = ハンドルおよびハンドル・ハウジングでの使用が認可されている N = 使用不可 T = トランスジューサに使用可能
CA = カナダ	HLD = 高水準の消毒剤	
DE = ドイツ	ILD = 中水準の消毒剤	
ES = スペイン	LLD = 低水準の消毒剤	
EU = 欧州	S = 滅菌剤	
FR = フランス		
JP = 日本		
UK = 英国		
US = アメリカ合衆国		



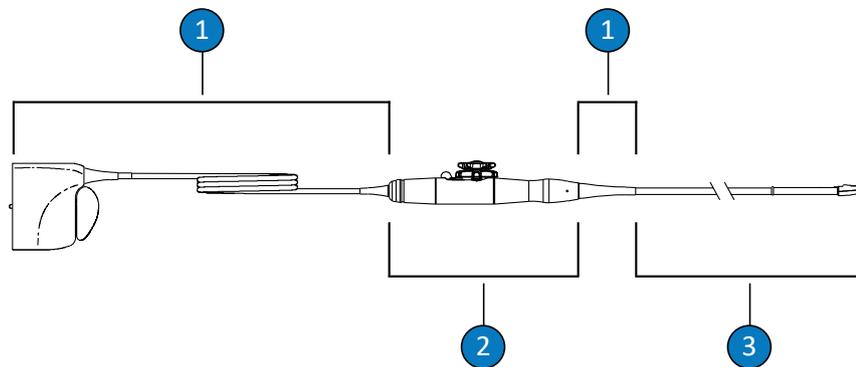
TEE トランスジューサ以外の部品

- 1 C (ケーブルおよびコネクタ)
- 2 T (トランスジューサ)



TEE 以外のトランスジューサ (USB 接続)

- 1 C (ケーブルおよびコネクタ)
- 2 T (トランスジューサ)



TEE トランスジューサの部品

- 1 C (ケーブル、コネクタ、および屈曲コントロール)
- 2 H (ハンドルおよびステアリング機構)
- 3 T (トランスジューサとフレキシブル・シャフト)



注意

TEE トランスジューサについては、すべての除染プロセスでコネクタ・ピンの保護カバーを使用することが必須となっています。トランスジューサをスキャンに使用する際は、コネクタからカバーを外してください。カバーは常に紐でトランスジューサ・ケーブルに付けたままにしておいてください。

注

「消毒剤の適合性に基づいて一覧表示されたトランスジューサ」(30ページ)または「トランスジューサ名に基づく消毒剤の適合性」(24ページ)の表を使用して、トランスジューサおよび対応する適合性カラムを見つけてください。

消毒剤とクリーニング溶液の適合性

溶液/装置	製造国または地域	認可済み使用方法	有効成分	消毒剤の種類	適合性カラム							
					1	2	3	4	5	6	7	8
Accel Wipes (全タイプ)	CA	清拭	過酸化水素	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
Acecide-C (旧称 Acecide)	JP	浸漬 ¹	過酢酸	HLD、S	N	N	N	N	T	N	N	N

溶液/装置	製造国または地域	認可済み使用方法	有効成分	消毒剤の種類	適合性カラム							
					1	2	3	4	5	6	7	8
Advantage Plus (オプションの TEE/TOE プローブ・フックアップ・キットを使用する場合は必須)	US	AR	過酢酸	HLD	N	N	N	T ⁷	T ⁷	N	N	N
Advantage Plus (オプションの超音波プローブ・フックアップ・キットを使用する場合は必須)	US	AR	過酢酸	HLD	N	T ⁶ 、C ⁸	N	N	N	N	T ⁶ 、C ⁸	N
Aidal Plus	AU	浸漬 ¹	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C ⁸	T、C ⁸	N	T	T	T	T、C ⁸	T
Anios Clean Excel D	FR	散布/清拭/浸漬 ¹	QUAT、グルコン酸クロルヘキシジン、界面活性剤	CL	T、C	T、C	T、C	T	T	T	T、C	T、C
Aniosept Activ	FR	浸漬 ¹	過酢酸	HLD、S	N	T、C ⁸	N	N	T	T	T、C ⁸	T
ANIOXY DM	FR	浸漬 ¹	過酢酸	HLD、S	N	T、C ⁸	N	N	T	T	T、C ⁸	T

3000 131 84781_B/795 * 2024 年 3 月

Philips

溶液/装置	製造国または地域	認可済み使用方法	有効成分	消毒剤の種類	適合性カラム							
					1	2	3	4	5	6	7	8
Anioxyde 1000	FR	浸漬 ¹	過酢酸	HLD	N	T、C ⁸	N	N	T	T	T、C ⁸	T
Antigermix E1	FR	E1 システム	UV-C	HLD	N	N	N	T、C、H ⁵	T、C、H ⁵	N	N	N
Antigermix S1	FR	S1 システム	UV-C	HLD	T、C ⁸ ^{2、8}	T、C ^{2、8}	N	N	N	N	T、C ⁸	T、C
Aquacide	US	Ethos Reprocessor	過酢酸	クリーニング溶液、HLD	N	T、C ^{10,11}	N	N	N	N	T、C	T、C
ASTRA TEE	US	AR	溶液に依存	HLD	N	N	N	T ⁷	T ⁷	N	N	N
ASTRA TEE Ultra	US	AR	溶液に依存	HLD	N	N	N	T ⁷	T ⁷	N	N	N
ASTRA VR	US	AR	溶液に依存	HLD	T ⁹	T ⁹	N	N	N	N	N	N
ASTRA VR Ultra	US	AR	溶液に依存	HLD	T ⁹	T ⁹	N	N	N	N	N	N
BacilloI 30 Foam	DE	散布/清拭	アルコール、アルキルアミン	LLD、ILD	T	T	T	H	H	T、H	T	T
Banicide Plus	US	浸漬 ¹	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C ⁸	T、C ⁸	N	T	T	T	T、C ⁸	T
漂白剤 (最大 0.6% の NaOCl)	すべて	散布/清拭	次亜塩素酸ナトリウム	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	C	C	C	T、C	T、C

溶液/装置	製造国または地域	認可済み使用方法	有効成分	消毒剤の種類	適合性カラム							
					1	2	3	4	5	6	7	8
CaviWipes	US	清拭	アルコール、QUAT	LLD、ILD	T	T	T	H	H	T、H	T	T
Cidalkin (旧称 Alkaspray)	FR	散布/清拭	アルコール、アルキルアミン	LLD、ILD	T	T	T	H	H	T、H	T	T
Cidex OPA	US	浸漬 ¹	オルトフタルアルデヒド	HLD	T、C ⁸	T、C ⁸	N	T	T	T	T、C ⁸	T
Cleanisept Wipes	DE	散布/清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
Clinell Sporicidal Wipes	UK	清拭	過酢酸、界面活性剤	CL、HLD	T、C	T、C	T、C	N	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
Clinell Universal Wipes	UK	散布/清拭	QUAT、ビグアニド	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
Clorox Healthcare Bleach Germicidal Cleaner	US	散布/清拭	次亜塩素酸ナトリウム	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	C	C	C	T、C	T、C

3000 131 84781_B/795 * 2024 年 3 月

Philips

溶液/装置	製造国または地域	認可済み使用方法	有効成分	消毒剤の種類	適合性カラム							
					1	2	3	4	5	6	7	8
Clorox Healthcare Hydrogen Peroxide Cleaner Disinfectants	US	散布/清拭	過酸化水素	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
Combi-Instrument s-N	DE	浸漬 ¹	グルタルアルデヒドおよびformacetaleブレンド	HLD	T、C ^B	T、C ^B	N	N	T	T	T、C ^B	T
変性エチル・アルコール (最大 85%)	すべて	散布/清拭	変性エチル・アルコール、水	LLD、ILD	T	T	T	H	H	T、H	T	T
Descoton Extra	DE	浸漬 ¹	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C ^B	T、C ^B	N	T	T	T	T、C ^B	T
Dispatch	US	散布/清拭	次亜塩素酸ナトリウム	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	C	C	C	T、C	T、C
DSD 201 (オプションのブリッジ・キットの使用が必要)	US	AR	溶液に依存	HLD	N	N	N	T ⁷	T ⁷	N	N	N

3000 131 84781_B/795 * 2024 年 3 月

Philips

溶液/装置	製造国または地域	認可済み使用方法	有効成分	消毒剤の種類	適合性カラム							
					1	2	3	4	5	6	7	8
DSD EDGE (オプションのブリッジ・キットの使用が必要)	US	AR	過酢酸	HLD	N	N	N	T ⁷	T ⁷	N	N	N
Endozyme Enzymatic (全タイプ)	US	プレクリーナー	酵素、界面活性剤	CL	T、C	T、C	N	T、C、H	T、C、H	T	T、C	T
Enzol	US	プレクリーナー	酵素、界面活性剤	CL	T、C	T、C	N	T、C、H	T、C、H	T	T、C	T
Epizyme Rapid	AU	プレクリーナー	酵素、界面活性剤	CL	T、C	T、C	N	T、C、H	T、C、H	T	T、C	T
Gigasept FF (neu)	DE	浸漬 ¹	コハク酸ジアルデヒド	HLD	T、C ⁸	T、C ⁸	N	N	T	N	T、C ⁸	T
Gigasept PAA	DE	浸漬 ¹	過酢酸	HLD	N	T、C ⁸	N	N	T	T	T、C ⁸	T
Gigasept PAA Concentrate	DE	浸漬 ¹	過酢酸	HLD	N	T、C ⁸	N	N	T	T	T、C ⁸	T
Hexanios G+R	FR	浸漬 ¹	QUAT、ビッグアニド、界面活性剤	CL、LLD、ILD	T、C	T、C	N	N	N	N	T、C	T
Hibiclens (最大 4%)	US	プレクリーナー	グルコン酸クロルヘキシジン	CL	T、C	T、C	T	N	N	T、C	T、C	T、C

溶液/装置	製造国または地域	認可済み使用方法	有効成分	消毒剤の種類	適合性カラム							
					1	2	3	4	5	6	7	8
Hypernova Chronos	FR	Chronos システム	UV-C	HLD	T、C ^{2,8}	T、C ^{2,8}	N	N	N	N	T、C ⁸	T、C
Incidin	DE	散布/清拭	アルコール	LLD、ILD	T	T	T	H	H	T、H	T	T
Incidin OxyWipe	DE	散布/清拭	過酸化水素、界面活性剤	CL、LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
Incidin OxyWipe S	DE	散布/清拭	過酸化水素、界面活性剤	CL、LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
Incidin OxyFoam	DE	散布/清拭	過酸化水素、界面活性剤	CL、LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
Incidin OxyFoam S	DE	散布/清拭	過酸化水素、界面活性剤	CL、LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
Incidin Plus	DE	浸漬 ¹	グルコプロタミン	HLD	T、C ⁸	T、C ⁸	N	N	T	T	T、C ⁸	T
Incidin Rapid	DE	散布/清拭	QUAT、グルタルアルデヒド	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T	T	T	T、C	T、C
Incidur Spray	DE	散布/清拭	アルコール、QUAT、アルデヒド	LLD、ILD	T	T	T	H	H	T、H	T	T

溶液/装置	製造国または地域	認可済み使用方法	有効成分	消毒剤の種類	適合性カラム							
					1	2	3	4	5	6	7	8
Instruzyme	FR	プレクリーナー	酵素、QUAT、 ビグアニド	CL	T、 C	T、C	N	T	T	T	T、 C	T
Intercept Detergent	US	AR	界面活性剤	CL	T、 C	T、C	N	T	T	T	T、 C	T
Intercept Wipes	US	清拭	界面活性剤	CL	T、 C	T、C	N	T、 C、H	T、 C、H	T	T、 C	T、 C
イソプロピ ル・アルコー ル (最大 91%)	すべて	散布/清拭	イソプロピル・ アルコール、水	LLD、 ILD	T	T	T	H	H	T、 H	T	T
Klenzyme	US	プレクリーナー	酵素、界面活性 剤	CL	T、 C	T、C	N	T、 C、H	T、 C、H	T	T、 C	T
Korsolex Basic	FR	浸漬 ¹	アルデヒド放出	HLD	T、 C ⁸	T、C ⁸	N	N	T	T	T、 C ⁸	T
Korsolex Extra	FR	浸漬 ¹	QUAT、アルデ ヒド	HLD	T、 C ⁸	T、C ⁸	N	T	T	T	T、 C ⁸	T
Lumicare ONE	AU	AR	UV-C	HLD	T、 C ¹¹	T、C ¹¹	N	N	N	N	N	N
Matrix Biofilm Remover	AU	プレクリーナー	酵素、界面活性 剤	CL	T、 C	T、C	T	T、 C、H	T、 C、H	T	T、 C	T
MaxiCide Plus	US	浸漬 ¹	グルタルアルデ ヒド	HLD、S	T、 C ⁸	T、C ⁸	N	T	T	T	T、 C ⁸	T
MedDis	UK	浸漬 ¹	QUAT、スル ファミン酸	HLD	T、 C ⁸	T、C ⁸	N	N	T	T	T、 C ⁸	T

溶液/装置	製造国または地域	認可済み使用方法	有効成分	消毒剤の種類	適合性カラム							
					1	2	3	4	5	6	7	8
Medipal 消毒ワイブ	UK	清拭	QUAT、ビッグアニド	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
Medistel	UK	浸漬 ¹	QUAT、スルファミン酸	HLD	T、C ^B	T、C ^B	N	T	T	T	T、C ^B	T
MediZyme	AU	プレクリーナー	酵素、界面活性剤	CL	T、C	T、C	N	T、C、H	T、C、H	T	T、C	T
MetriCide	US	浸漬 ¹	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C ^B	T、C ^B	N	T	T	T	T、C ^B	T
MetriCide 28	US	浸漬 ¹	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C ^B	T、C ^B	N	T	T	T	T、C ^B	T
MetriCide OPA Plus	US	浸漬 ¹	オルトフタルアルデヒド	HLD	T、C ^B	T、C ^B	N	T	T	T	T、C ^B	T
MetriCide Plus 30	US	浸漬 ¹	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C ^B	T、C ^B	N	T	T	T	T、C ^B	T
MetriZyme	US	プレクリーナー	酵素、界面活性剤	CL	T、C	T、C	N	T、C、H	T、C、H	T	T、C	T
Mikrobac Virucidal Tissues	DE	清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
mikrozid PAA Wipes	DE	清拭	過酢酸	LLD、ILD	N	T、C	T、C	N	T、C	T、C、H	T、C	T、C
低刺激性の石鹸水 ⁴	すべて	プレクリーナー	界面活性剤	CL	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T	T、C	T

溶液/装置	製造国または地域	認可済み使用方法	有効成分	消毒剤の種類	適合性カラム							
					1	2	3	4	5	6	7	8
Milton	AU	散布/清拭	次亜塩素酸ナトリウム	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	C	C	C	T、C	T、C
NDP Med Concentrated Plus	ES	浸漬 ¹	N-Duopropenide、アルキルアミン	HLD	T、C ^B	T、C ^B	N	T	T	T	T、C ^B	T
neodisher endo CLEAN/ neodisher endo SEPT PAC	DE	AR	界面活性剤、過酢酸	CL、HLD	N	N	N	N	T	N	N	N
Neodisher endo DIS アクティブ	DE	浸漬 ¹	過酢酸	HLD	N	T、C ^B	N	T	T	T	T、C ^B	T
Neodisher Septo Active	DE	浸漬 ¹	過酢酸	HLD	N	T、C ^B	N	N	T	T	T、C ^B	T
Omnicide	US	浸漬 ¹	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C ^B	T、C ^B	N	T	T	T	T、C ^B	T
Omnicide 28	US	浸漬 ¹	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C ^B	T、C ^B	N	T	T	T	T、C ^B	T
OPAL	AU	浸漬 ¹	オルトフタルアルデヒド	HLD	T、C ^B	T、C ^B	N	T	T	T	T、C ^B	T
Opti-Cide3	US	散布/清拭	アルコール、QUAT	LLD、ILD	T	T	T	H	H	T、H	T	T

3000 131 84781_B/795 * 2024 年 3 月

Philips

溶液/装置	製造国または地域	認可済み使用方法	有効成分	消毒剤の種類	適合性カラム							
					1	2	3	4	5	6	7	8
Oxivir (全タイプ)	US	清拭	過酸化水素	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
Oxygenon-I	DE	浸漬 ¹	酸素生成	HLD	N	T、C ^B	N	T ³	T	T	T、C ^B	T
Perastel	UK	AR/浸漬 ¹	過酢酸	HLD	N	T、C ^B	N	N	T	T	T、C ^B	T
PerCept (全タイプ)	CA	清拭	過酸化水素	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
Phagocide D	FR	浸漬 ¹	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C ^B	T、C ^B	N	T	T	T	T、C ^B	T
PI-Spray (以前のT-Spray)	US	散布/清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
PI-Spray II (以前のT-Spray II)	US	散布/清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
PREempt Concentrate	CA	散布/清拭	過酸化水素	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
PREempt RTU	CA	散布/清拭	過酸化水素	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C

溶液/装置	製造国または地域	認可済み使用方法	有効成分	消毒剤の種類	適合性カラム							
					1	2	3	4	5	6	7	8
PREempt Wipes	CA	清拭	過酸化水素	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
ProCide-D	US	浸漬 ¹	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C ^B	T、C ^B	N	T	T	T	T、C ^B	T
ProCide-D Plus	US	浸漬 ¹	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C ^B	T、C ^B	N	T	T	T	T、C ^B	T
Prolystica 2X	US	プレクリーナー	酵素、界面活性剤	CL	T、C	T、C	N	T、C、H	T、C、H	T	T、C	T
Protex Disinfectant (全タイプ)	US	散布/清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
Proxy P/Proxy A	AU	AR	過酢酸	HLD	N	N	N	N	T	N	N	N
第4アンモニウム (最大0.8% アクティブ)	すべて	散布/清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
RAPICIDE Glut	US	浸漬 ¹	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C ^B	T、C ^B	N	T	T	T	T、C ^B	T
RAPICIDE OPA/28	US	浸漬 ¹	オルトフタルアルデヒド	HLD	T、C ^B	T、C ^B	N	T	T	T	T、C ^B	T
RAPICIDE PA	US	浸漬 ¹	過酢酸	HLD	N	T、C ^B	N	T	T	T	T、C ^B	N

溶液/装置	製造国または地域	認可済み使用方法	有効成分	消毒剤の種類	適合性カラム							
					1	2	3	4	5	6	7	8
RAPICIDE PA Single Shot	US	AR	過酢酸	HLD	N	T、C ^B	N	T	T	T	T、C ^B	N
Rely+On PeraSafe (旧称 PeraSafe)	UK	浸漬 ¹	過酢酸	HLD、S	N	T、C ^B	N	T	T	T	T、C ^B	T
Revital-Ox Enzymatic (全タイプ)	US	浸漬 ¹	酵素、界面活性剤	CL	T、C	T、C	N	T、C、H	T、C、H	T	T、C	T
Revital-Ox RESERT	US	浸漬 ¹	過酸化水素	HLD	T、C ^B	T、C ^B	N	T ³	T	T	N	T
Rivascop	FR	散布/清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
Salvanios pH 10	FR	散布/清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
Sani-24	US	散布/清拭	アルコール、QUAT	LLD、ILD	T	T	T	H	H	T、H	T	T
Sani-Cloth Active	DE	清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
Sani-Cloth AF	US	清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C

溶液/装置	製造国または地域	認可済み使用方法	有効成分	消毒剤の種類	適合性カラム							
					1	2	3	4	5	6	7	8
Sani-Cloth AF3	US	清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
Sani-Cloth Bleach	US	清拭	次亜塩素酸ナトリウム	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	C	C	C	T、C	T、C
Sani-Cloth CHG 2%	UK	散布/清拭	アルコール、グルコン酸クロルヘキシジン	LLD、ILD	T	T	T	H	H	T、H	T	T
Sani-Cloth HB	US	清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
Sani-Cloth Plus	US	清拭	アルコール、QUAT	LLD、ILD	T	T	T	H	H	T、H	T	T
Sani-Cloth Prime	US	清拭	アルコール、QUAT	LLD、ILD	T	T	T	H	H	T、H	T	T
Sekucid N	FR	浸漬 ¹	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C ⁸	T、C ⁸	N	T	T	T	T、C ⁸	T
Sekusept Aktiv	DE	浸漬 ¹	過酢酸	HLD	N	T、C ⁸	N	T	T	T	T、C ⁸	T
Sekusept Easy	DE	浸漬 ¹	過酢酸	HLD	N	T、C ⁸	N	T	T	T	T、C ⁸	T
Sekusept Plus	DE	浸漬 ¹	グルコプロタミン	HLD	T、C ⁸	T、C ⁸	N	N	T	T	T、C ⁸	T
Serie TEE	FR	AR	溶液に依存	HLD	N	N	N	T ⁷	T ⁷	N	N	N

溶液/装置	製造国または地域	認可済み使用方法	有効成分	消毒剤の種類	適合性カラム							
					1	2	3	4	5	6	7	8
Soluscope P/ Soluscope A	FR	AR	過酢酸	HLD	N	N	N	N	T	N	N	N
Sono Ultrasound Wipes	US	清拭	QUAT	LLD、 ILD	T、 C	T、 C	T、 C	T、 C、 H	T、 C、 H	T、 C、 H	T、 C	T、 C
Steranios 2%	FR	浸漬 ¹	グルタルアルデ ヒド	HLD、 S	T、 C ^B	T、 C ^B	N	T	T	T	T、 C ^B	T
STERRAD 100S	US	AR	過酸化水素	S	N	N	N	N	N	T ⁶ 、 C、 H	N	N
Super Sani-Cloth	US	清拭	アルコール、 QUAT	LLD、 ILD	T	T	T	H	H	T、 H	T	T
TD-5	US	TD-100 処 理装置、 TEEClean 処理装置	グルタルアルデ ヒド	HLD	N	N	N	T	T	N	N	N
TD-8	US	TD-100 処 理装置、 TEEClean 処理装置	オルトフタルア ルデヒド	HLD	N	N	N	T	T	N	N	N
TD-12	US	TD-200 処 理装置	過酢酸	HLD	N	N	N	T	T	N	N	N
TEEZyme	US	TEEClean 処理装置	酵素、界面活性 剤	CL	N	N	N	T	T	N	N	N

溶液/装置	製造国または地域	認可済み使用方法	有効成分	消毒剤の種類	適合性カラム							
					1	2	3	4	5	6	7	8
TEEZymeM C	US	プレクリーナー	酵素、界面活性剤	CL	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C	T
TEEZyme Sponge	US	プレクリーナー	酵素、界面活性剤	CL	N	N	N	T	T	N	N	N
Tristel DUO	UK	フォーム/清拭	二酸化塩素	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	N	N	N	T、C	T、C
Tristel DUO ULT	UK	フォーム/清拭	二酸化塩素	HLD	T、C	T、C	T、C	N	N	N	T、C	T、C
Tristel ULT	UK	フォーム/清拭	二酸化塩素	HLD	T、C	T、C	T、C	N	N	N	T、C	T、C
Stella の Tristel ヒューズ	UK	Stella システム	二酸化塩素	HLD	T、C ^B	T、C ^B	N	T	T	T	T、C ^B	T
Tristel Sporicidal Wipes	UK	清拭	二酸化塩素	HLD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C
Tristel Trio Wipes System	UK	事前クリーニング清拭、殺孢子性清拭、すすぎ清拭	酵素、界面活性剤、二酸化塩素	CL、HLD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T
trophon2	AU	trophon2 処理装置	過酸化水素	HLD	T、C ^B	T、C ^B	N	N	N	N	T、C ^B	T、C

3000 131 84781_B/795 * 2024 年 3 月

Philips

溶液/装置	製造国または地域	認可済み使用方法	有効成分	消毒剤の種類	適合性カラム							
					1	2	3	4	5	6	7	8
trophon Companion Cleaning Wipes	AU	清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
UltrOx	US	浸漬 ¹	過酸化水素	HLD	T、C ^B	T、C ^B	N	T ³	T	T	N	T
trophon EPR	AU	trophon EPR 処理装置	過酸化水素	HLD	T、C ^B	T、C ^B	N	N	N	N	T、C ^B	N
Vaposeptol	FR	散布/清拭	アルコール、ビグアニド	LLD、ILD	T	T	T	H	H	T、H	T	T
Virox 5 RTU	CA	清拭	過酸化水素	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
Wavicide -01	US	浸漬 ¹	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C ^B	T、C ^B	N	T	T	T	T、C ^B	T
Wip'Anios Excel	FR	清拭	QUAT、ビグアニド、界面活性剤	CL、LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C
Wip'Anios Premium	FR	清拭	QUAT、ビグアニド、界面活性剤	CL、LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C	T、C

1. コネクタを浸漬しないでください。これらの製品は、『超音波診断装置およびトランスジューサの手入れおよびクリーニング』マニュアルの手順に従って、自動処理装置 (AR) で使用できます。

2. Antigermix S1 および Hypernova Chronos は、3D6-2、3D8-4、V6-2、V8-4、V9-2、VL13-5 または VL13-5 Compact では使用できません。
3. Oxygenon-I および Revital-Ox RESERT を使用すると、S7-3t トランスジューサおよび S8-3t トランスジューサのフレキシブル・シャフトが変色する場合があります。変色しても、デバイスの安全性や性能に影響はありません。
4. 低刺激性の石鹼水とは、刺激の強い成分を含まず、皮膚に刺激を与えない石鹼水のことです。香料、油分、アルコールを含むものは使用できません。手指用の除菌剤の使用は認可されていません。
5. Antigermix E1 により経食道トランスジューサのプラスチック部分が変色する可能性があります。
6. この自動処理装置で使用される特定の溶液については、「[AR \(自動処理装置\) のガイドライン](#)」(20ページ) を参照してください。
7. この自動消毒装置で使用される特定の溶液については、「[自動 TEE トランスジューサ消毒装置と洗浄消毒装置のガイドライン](#)」(23ページ) を参照してください。
8. ケーブルでの使用のみが認可されており、コネクタでの使用は認可されていません。
9. この自動処理装置(経膈または経直腸トランスジューサのみ)で使用される特定の溶液については、「[AR \(自動処理装置\) のガイドライン](#)」(20ページ) を参照してください。
10. ETHOS System をラベルに記載された指示どおりに使用する場合、トランスジューサのコネクタは洗浄剤および消毒剤に接触しません。
11. このシステムは、形状に関する制約により V6-2、V8-4、VL13-5 での使用は承認されていません。

www.philips.com/healthcare



Philips Ultrasound LLC
22100 Bothell Everett Hwy
Bothell, WA 98021-8431
USA



Philips Medical Systems Nederland B.V.
Veenpluis 6
5684 PC Best
The Netherlands

CE 2797



© 2024 Koninklijke Philips N.V.

All rights reserved. 記載されている製品名などの固有名詞は、Koninklijke Philips N.V.またはその他の会社の商標または登録商標です。

Published in USA

3000 131 84781_B/795 * 2024 年 3 月- ja-JP